

研究テーマ

三次元動作解析装置を用いた注視点と歩行の同時計測

当研究室では、デジタルヒューマンモデリング技術の手法を用いて、ヒトの動作を、①観察→②分析→③解析することにより、アウトカムとしての人間適合性の高い「生活環境」「福祉機器」「動作遂行方法」の考案と開発に取り組みます。

主な研究テーマ

- 三次元動作解析装置を用いたモデル解析
- 身体運動と注視点の同時計測

主な担当講義科目

運動学、臨床運動学、研究方法論、臨床判断分析学
総合臨床実習、理学療法基礎科学特論・同演習

成果

① 人の動きを支援する椅子

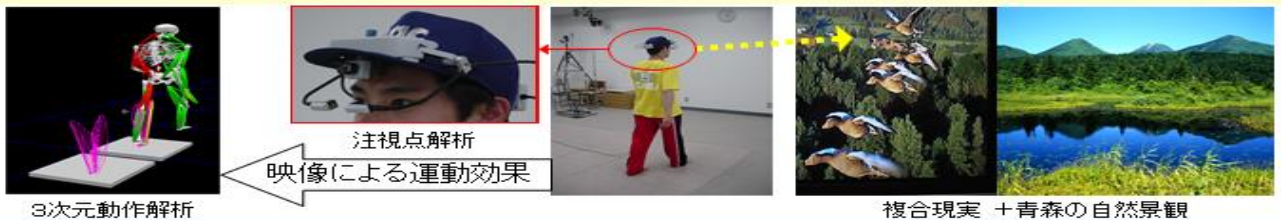
連携：(株)清藤木工・県工業総合研究センター



応用展開

② 青森の自然景観を用いた運動療法システム

連携：(有)リードエンジニアリング



研究の波及(技術提供)

③ ユニバーサルデザインテーブル

連携：(有)今木地製作所・(有)建築事務所クレイドル・NPO活き粋あさむし・県工業総合研究センター



大学院進学を希望する方へ

「素人発想、玄人実行（素直で自由な発想を、高度専門家として実用化する）」金出武雄、ロボティクスの世界的権威「センス・オブ・ワンダー（知ることは感じることの半分も重要ではない）」レイチェル・カーソン、海洋生物学者。この2つのキーワードには共鳴します。青森発！知識と技術に感性をブレンド、すなわち、基礎研究を科学的基盤とした実用技術研究に関心がある方はどうぞ、ご来室をお待ちしております。